Press Release
記者発表資料

きらっと☆とよかわっ！
愛知県 豊川市

令和５年８月３１日

豊川市政記者クラブ加盟社　各位

豊川市制施行80周年記念事業「豊川市学校展　学校のあゆみとこれから展」の開催について

豊川市教育委員会では、豊川市制施行８０周年記念事業として、「豊川市学校展　学校のあゆみとこれから展」を開催しています。豊川市内３６の小中学校の紹介、学校生活の移り変わりの様子、明治から昭和初期の貴重な教科書や教具、現在使用しているタブレット端末やドローンなどをパネルや実物で紹介しています。ぜひ、一度足をお運びください。
詳細は以下のとおりです。

1　開催場所
　豊川市文化会館　１階展示室
2　開催期間
　令和５年８月２３日（水曜日）～令和５年９月１１日（月曜日）
　（８月２９日、９月４日、９月５日は開催しておりません。）
3　開催時間
　午前９時から午後５時
4　その他
　入場は無料です。

【お問合せ先】
豊川市教育委員会　学校教育課　藤田　充
TEL:0533-88-8033　Ｅメール：gakokyoiku@city.toyokawa.lg.jp

TOYOKAWA







もっと、ずっと、豊川。
80th Anniversary
豊川市制施行80周年

豊川市制施行80周年記念事業

豊川市学校展

学校のあゆみとこれから展

明治5年（1872）、近代的学校制度として、明治政府により学制が発布されました。「国民皆学」の理念のもと、教育制度が整えられ、豊川市（旧宝飯郡を含む）でも、多くの小学校が、この時期に誕生しています。また、戦後の昭和22年（1947）に教育基本法及び学校教育法が公布されると、各自治体に、中学校の設立が義務づけられました。豊川市内の中学校10校のうち、8校がこの年に設立しています。

いつの時代も、学校には、勉学に励み、仲間との学校生活を通して、日々成長しようとする子どもたちと、子どもたちの成長を見守り、励まし続けてきた教師たちがいました。時代は変わりましたが、学校は、今も、笑顔と元気、夢と希望にあふれています。

市制施行80周年の節目にあたり、豊川市の小中学校の「昔・今・これから」を紹介する「豊川市学校展」を開催します。









開催日時 令和5年 8月23日（水）▶9月11日（月）

場　所 豊川市文化会館　1階展示室

開催日及び時間 午前9時から午後5時まで　火曜日休み

入場無料

主　催◆豊川市教育委員会　豊川市小中学校長会

昭和から平成へ

地域に開かれた学校、特色ある学校をめざして、様々な取組が各校で行われました。また、学校5日制が始まり、家庭や地域との連携が進められました。


オーストラリア交流（平成19）


河原で秋祭り（平成8）


親子探鳥会（平成12）


「あゝ海軍工廠」上演（平成5）


手づくりカッター体験（平成15）

令和の新しい時代に

新しい令和の時代に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大が学校生活に大きな影響を与えました。子どもたちの安全を確保し、教育活動を継続しました。また、子どもたち同士の学び合いの授業や、一人一台端末の活用、英語、道徳の教科化、外部人材の活用等、学校は大きく変わりつつあります。


卒業生と保護者のみの卒業式（令和2）


タブレットを使った授業（令和4）


ドローンを使ってプログラミング教育（令和4）

海外交流のあゆみ

◆昭和53年
アメリカ
キュパティーノ市と
姉妹都市提携





◆平成21年
中国
無錫市と
姉妹都市提携

野外活動の思い出

◆昭和50年　遠見山に野外教育センター完成





◆平成12年　設楽町段戸に「きららの里」完成





豊川市制施行80周年記念事業

もっと、ずっと、豊川。 80th Anniversary 豊川市制施行80周年

豊川市学校展

学校のあゆみとこれから展

明治5年（1872）、近代的学校制度として、明治政府により学制が発布されました。「国民皆学」の理念のもと、教育制度が整えられ、これにより、明治8年には、全国に約24,500校が設立されました。豊川市（旧宝飯郡を含む）でも、豊川小学校、八南小学校はじめ、多くの小学校が、この時期に誕生しています。

また、戦後の昭和22年（1947）に教育基本法及び学校教育法が公布されると、各自治体に、中学校の設立が義務づけられました。豊川市内の中学校は、代田中学校と金屋中学校の2校を除く8校がこの年に設立しています。

豊川市は、豊川海軍工廠の開廠を契機とし、昭和18年（1943）に誕生しました。その後、戦後の復興に伴う人口増加により、学校が分離・新設されました。そして、平成の旧宝飯郡4町との合併を経て、令和5年（2023）現在、小学校26校、中学校10校、児童生徒数は、約15,500名となっています。

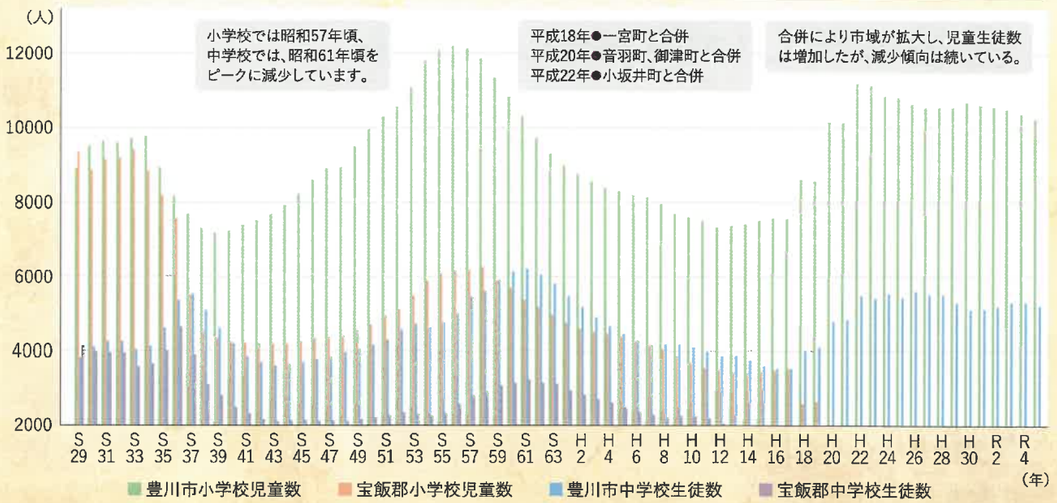
いつの時代も、学校には、仲間との学校生活を通して、日々成長しようとする子どもたちと、子どもたちの成長を見守り、励まし続けてきた教師たちがいました。時代は変わりましたが、学校は、今も、笑顔と元気、夢と希望にあふれています。市制施行80周年の節目にあたり、豊川市の小中学校の「昔・今・これから」を紹介する「豊川市学校展」を開催します。


校舎の窓から（昭和25頃）


教室にあふれるほどの生徒（昭和36）


学芸会（昭和33）

◆児童生徒数の推移



明治・大正・昭和のはじめの頃

明治時代のはじめの頃は、児童の就学率は低かったですが、小学校の授業料無償化など様々な努力が積み重ねられ、明治時代の後半には、就学率が90%を上回りました。大正時代には、大正デモクラシーの影響を受け、子どもの自主性を伸ばす大正自由教育が広がりましたが、昭和時代になると、世界情勢の変化を踏まえ、次第に戦時下教育としての性格が強く示されるようになりました。


校舎増築記念(大正4)


ラジオ体操(大正13)


校舎と子どもたち(明治42)


田植え(昭和の初め)


全校集会(昭和2)


二宮尊徳除幕式(昭和の初め)


避難訓練(昭和8)



豊川市の誕生(昭和18)

戦後の新しい教育がスタート

昭和22年(1947)、「教育基本法」、「学校教育法」が制定されました。それまでの国民学校初等科は「小学校」に改組されました。小学校6年、中学校3年の9年が義務教育となり、現在まで続いています。各学校の教科で教える内容を示した「学習指導要領」も同時期に定められました。


旧工廠工員寄宿舎で学んだ第1回卒業生


旧市庁舎を利用した校舎(昭和22)


校庭でバレーボール(昭和24)

にぎやかだった昭和の時代

児童生徒数も一気に増え、学習や運動、学校行事に一生懸命取り組む子どもたちの姿があり、たくさんの笑顔と歓声に包まれていました。学校の新設や分離、校舎の増築や移転等も行われました。


運動会のようす(昭和33)


全校で学校体操(昭和43)


木造校舎と運動会(昭和40頃)


登校のようす(昭和39)


東京オリンピック聖火リレー(昭和39)


新校舎へ移転(昭和49)


花形だった鼓笛隊(昭和37)


運動会の1コマ(昭和35)


伊勢へ修学旅行(昭31)


給食のようす(昭和35)


開校当時の校庭(昭和48)


七夕集会(昭和60)


全校で田植え(昭和51)


親子キャンプ(昭和60)


佐久島キャンプ(昭和55)


開校当時の運動会(昭和60頃)